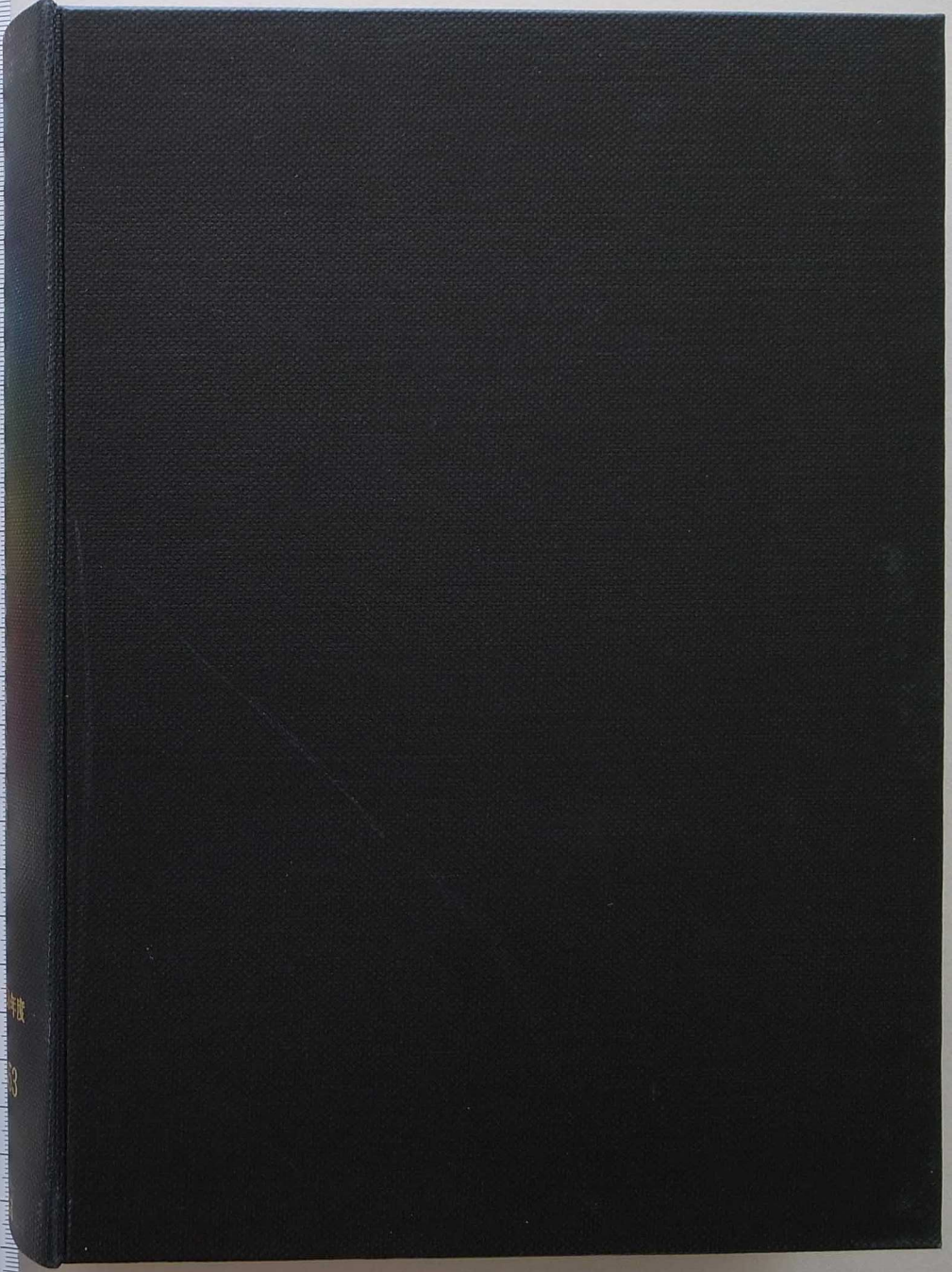
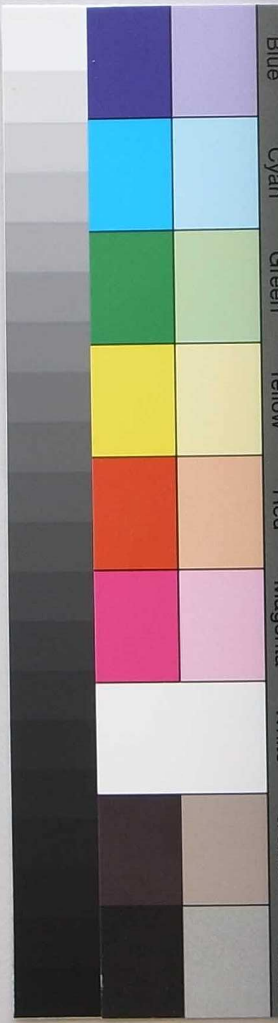


6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7



昭和27年度

事業報告書

鹿兒島縣鹿兒島水產指導所

鹿兒島市洲崎町21

鹿兒島縣北薩水產指導所

串木野市浦和町

鹿兒島縣南薩水產指導所

川辺郡笠沙町仁王崎

鹿兒島縣大隅水產指導所

噌唼郡志布志町帖

鹿兒島縣熊毛水產指導所

熊毛郡西之表町野首

目 次

鹿兒島水産指導所

漁 撈 部	P
輕竿釣漁業試験	3
漁況調査及其の普及	5
漁況放送	7
旗魚延縄漁業調査試験	19
漁船々員研修会	23
遠洋横断観測	25
製 造 部	
鰯味付缶詰製造試験	33
とこぶし缶詰	34
いたゞ貝味付缶詰	37
窠田鰯	38
ばか貝	39
鰯味淋乾製造試験	40
うちはえみ水煮缶詰製造試験	42
あさひかに	43
鰯油漬及鰯ブライン漬缶詰試験	44
鰯節の有郊世の人工接種	45
鰯肉のアンモニア臭除去試験	46
飛魚味淋干製造講習	47
鰯味淋干製造講習	48
養 殖 部	
あさくさのみり養殖試験	49
黒鯨介真珠養成試験	56
わかめ移殖試験	60
鹿兒島港外定点観測結果	61

北薩水産指導所

漁 撈 部	72
鰯産刺網漁業試験	100
鰯漁網	115
鰯魚釣	129
定置漁場海底調査	
養 殖 部	
米ノ津町地先の海苔種子増殖調査	135
フノリ成熟期と増殖指導	151
天草海人草の増殖基礎調査	159
海苔養殖予備試験	164
沿岸海洋調査	208
鰯首派委託調査	

南薩水産指導所

漁 撈 部	218
鹿産鰯及鰯一本釣漁業試験	

浮延網漁業試験	216
鰓刺網漁業試験	226
気象海況	235
製 造 部	
ぶりの卵巣によるからすみ製造試験	238
うに加工講習会	239
ふのりさらし講習会	240
からすみ	240
浅草のり	241
養 殖 部	
浅海増殖試験	241
イセエビ移殖試験	244
浅草のり移殖適否試験	245
かき移殖試験	255

大隅水産指導所

漁 撈 部	
さば釣漁業試験	257
延縄	273
いたや貝及月日貝分布調査	281
有明湾内海洋観測	283
製 造 部	
うに製造講習会及製造試験	293
からすみ製造講習会	295
からすみ製造試験	296
懇田割龜節製造試験	296
からすみ(ぶり卵)	300
うに製造試験統計表	298
増 殖 部	
はか貝移殖試験及指導	302
いせえび陸上輸送について	304
海人草増殖試験及指導	305
築港施設設置指導	306
臨資源委託調査	308

熊毛水産指導所

漁 撈 部	
瀬魚一本釣漁業試験	309
漁具の構造の作り方	316
きびなご集魚灯試験	318
鯖一本釣漁場調査	323
鯖はね釣	330
瀬魚一本釣	334
養 殖 部	
海人草増殖試験	336
対馬暖流系水域開発研究海上調査	339
プランクトン検定結果	341

鹿児島水産指導所

漁撈部

鯉竿釣漁業試験

趣旨 前年度に引続き本縣の重要なる鯉漁業について、海況及漁況の調査試験を実施し新漁場の探査並に漁夫の訓練に努めた。尚出漁毎に漁海況の速報を行うと共に之が周知の迅速徹底を図るため鹿児島放送局の協力を得て漁況放送を実施し好漁場への標べとなし好評を得た。

調査方法

調査船 照洋丸 48.62噸 115 HP
乗組員 調査員 1名 船長以下31名(臨時を含む) 計32名
調査区域 薩南海区
期間 自昭和27年4月3日 至昭和28年3月25日 10航海
漁法 竿釣
漁獲物処理 氷藏にて鮮魚のまま根拠地に運搬売却す。

経過

航海次	出入港月日	漁獲高	航海次	出入港月日	漁獲高
1	自 4月 3日 至 4月 13日	533.2	6	自 5月 29日 至 6月 2日	1662.8
2	自 4月 16日 至 4月 20日	1500	7	自 6月 10日 至 6月 16日	649.9
3	自 4月 26日 至 5月 2日	1113.75	8	自 6月 23日 至 6月 29日	915
4	自 5月 7日 至 5月 15日	700	9	自 2月 25日 至 3月 5日	1735
5	自 5月 19日 至 5月 25日	503.7	10	自 3月 14日 至 3月 25日	923.2

調査概要

第一次航海 4月3日鹿児島発片浦にて餌料鯉を仕込み5日漁場へ南下す。本航海は昨年より一週間早く23°Cの水温帯は例年とは同期に北上しており、種子ヶ島南、屋久新着帳では鳥群が多く鯉も相当采遊しておるが、餌付が悪く約50%の漁獲をなした。他に当業船も多く中小型並に縣外船併せて数十隻の操業で今期はこの漁区に集中していた。北緯29度以北の平島、臥

旗魚延縄漁業調査試験

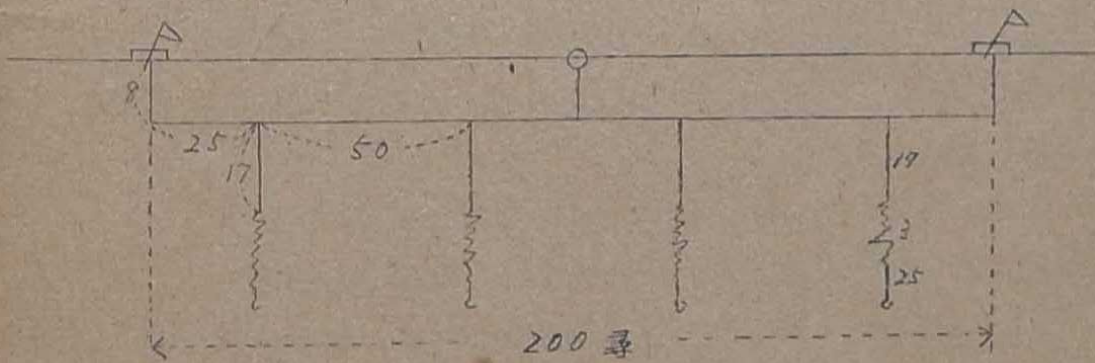
趣旨 前年度に引続き照洋丸を使用して8月より12月迄の魚群の洄游状態と海況との関係並に新漁場調査を実施し、その漁況海況の連絡速報に努めた。

調査方法

調査船 照洋丸 48.62噸 115 HP
 乗組員 調査一名 船長以下13名 臨時漁夫7名 計21名
 調査区域 五島近海より魚釣島近海
 調査期間 第一次 自8月20日 至9月3日
 第二次 自9月24日 至10月9日
 第三次 自10月18日 至11月1日
 第四次 自12月11日 至12月26日

漁具の仕立

漁具別	幹繩	技繩	セキヤマ	ワイヤ	浮繩	旗竿	浮玉	釣鉤	染料	備考
規格	8匁	8匁	麻芯	#25 7本燃	8匁	コヤナ 根本一寸	硝子玉	鰯魚型	カツテ	網際20番
寸法	200尋	各17尋	25匁3尋	25尋	8尋	2.5尋	経9寸	3.7	(100鉢)	技繩4本付



調査概要

航海回数並延日数 4航海 61日

技繩鉢数 釣数

技繩回数	鉢 数		釣 数		備 考
	延 数	一回平均	延 数	一回平均	
29	2,204	76	8,816	304	4航海、4本付

餌料 活さば---五島方面で実施 いわしあじさこ 240貫
 さば 480貫
 めちか (ノグチ) 2141貫---魚釣島方面で使用

調査概要

第一次航海 東支那海におけるかじき、まぐる漁場調査のため8月20日鹿児島を出港した。8月上旬は済州島ESE 20~30 哩附近に好漁があったが本航は済州島SSW 20~30'附近に魚群の出現が多く30 哩以遠は洄游が見られなかった。

第二次航海 9月24日出港、6日間の操業で投縄6回延384鉢の漁具使用と飼料は冷凍鯖及生鯖を以て操業したが天候の不順と船の破損により操業が困難で第一次に比し水温の低下とイカ、フグの餌取り出現により餌付が不良であった。

第三次航海 10月18日鹿児島を出港、済州島近海の鯖不漁と韓国船の襲撃が多く加うるに餌取りの出現により前航海より南下鳥島西30~70 哩及宇治西の海区を調査試漁したが餌取り多く魚群の洄游も余り認められなかった。

第四次航海 今回は6日間の操業で投縄6回480鉢1,928本の鈎と生鯖の漁獲が出来なかつたため、冷凍目近(80匁目廻)を以て実施した。

魚釣漁場は例年五島近海の秋漁の終漁期に引続き好漁のある海区で魚族の洄游状態、魚群の濃淡、飼料鯖の釣獲及海洋調査を目的に第一回投縄を lat 27°10'N long 125°29' 2回を lat 26°27'N long 124°24'E 赤尾礁NW 30 哩の海区を調査開始した。水温 23.5°~23.6°C 潮向速NW~NNW 1 哩~0.8 哩にして魚群淡にしてバセウ8、フカ4の漁獲があった。

尚別図の如き100 尋線4ヶ所の投縄をして調査、各漁場共前漁場に比し水温 2~3° 低下 23.2~19.8 を示し、フカ4の釣獲に終った。

中小型船の好漁場と稱せられた五島近海は最近の鯖漁業の好漁場と相俟つて本年も8、9月は良好なる成績を修めている。然るに飼料ではか、10月からは余り香ばしくなくなったのと韓国監視船の襲撃が多くなったので次第不振となり、魚釣島近海を探索せし処済州島附近の水温1°Cの低目につれ海区は適水温となり好漁獲があった。

調査表 (釣獲率)

No	Date	位 置	気 象			海 況		操 業 状 況					計					
			天 候	風 向	気 圧	気 温	表 面 水 温	潮 流 速	投 網 時 刻	揚 網 時 刻	使 用 鉢 数	使 用 釣 数		ま か じ き	め か じ き	し ろ か じ き	ほ ぼ う	工 数
1	8.24	33-20 N 127-30	B	SWZ	1011		25.2	ESE	6-30	16-00	20	320	0.31		0.31		0.31	3
2	25	33-15 127-20	"	SSWZ	1011		25.6	"	6-45	16-30	"	"	0.31		0.31		0.31	5
3	26	33-10 127-25	"	S 3	1012		25.2	"	6-40	17-20	"	"			0.31		0.31	5
4	27	33-05 127-20	"	S 2	1012		25.0	"	6-20	16-40	"	"	0.31	0.31			0.31	4
5	28	33-05 127-15	"	SWZ	1011		26.0	"	6-30	15-30	"	"			0.31		0.31	4
6	29	32-50 126-40	"	"	1010		27.0	NNE	6-00	17-30	"	"	0.31				0.31	4
7	30	32-50 126-35	"	"	1010		26.8	ESE	6-20	16-50	"	"	0.31				0.31	4
8	31	32-45 126-50	"	"	1012		25.7	"	6-20	16-30	"	"	0.31		0.31		0.31	8
9	12.1	33-17 127-22	C	NW3	1013	18.0	23.8	N	7-40	14-10	51	202						7
10	20	32-58 126-53	"	NE3	1016	22.0	26.0	NNE	6-30	15-30	25	320	0.31	0.31			0.31	7
11	10.1	32-56 126-47	B	N 3	1016	24.0	25.8	N	7-40	17-30	60	240	0.42				0.31	3
12	2	32-50 127-02	"	N 4	1017	23.0	24.7	"	7-00	15-30	75	300			0.31		0.31	4
13	6	33-09 127-25	C	NE3	1018	22.0	25.0	"	7-00	15-30	18	272			0.31		0.31	5
14	7	32-59 127-11	"	"	1015	24.0	26.2	NNE	7-20	15-30	50	200					0.31	1
15	17	31-15 128-10	B	NE2		22.0	24.2	NEE	10-25	16-35	70	220					0.31	4
16	20	32-05 126-50	"	"		21.0	22.7	NEE	7-10	16-20	"	"	0.31	0.31			0.31	7
17	21	32-03 126-46	"	SE4		24.0	21.7	"	7-20	15-20	"	"					0.31	7
18	25	32-18 126-43	BC	NE4		20.0	22.4	"	7-40	17-10	"	"	0.31		0.31		0.31	5
19	26	32-07 127-05	B	N 3		20.0	22.2	"	7-20	17-50	"	"					0.31	4
20	27	32-04 127-09	"	NE3		21.0	22.3	"	7-30	18-00	"	"			0.31		0.31	3
21	28	31-40 127-11	C	"		20.0	22.3	"	7-20	16-50	"	"			0.31		0.31	10
22	27	31-06 127-06	B	"		20.0	21.7	"	7-10	16-10	"	"					0.31	22
23	30	31-58 127-31	"	NE2		21.0	22.2	"	7-10	15-10	60	240					0.31	5
24	12.16	27-10 125-27					23.6	"	7-00	11-30	20	320					0.31	3
25	25	26-27 124-24					23.5	NNE	7-30	17-30	"	"			0.31		0.31	150
26	18	27-10 125-12					23.2	NEE	9-45	16-50	"	"					0.31	2
27	19	27-17 126-29					21.3	NNE	8-35	17-35	"	"					0.31	1
28	22	27-52 127-22					19.8	NNE	7-30	17-30	"	"					0.31	1
29	23	30-24 127-12					22.0	"	8-50	15-25	"	"					0.31	1
釣 獲 量											2200	2316	11	21	8	73	125	
系 種 百 分 率											(0.12)	(0.02)	(0.21)	(0.09)	(1.05)	(0.63)	(0.07)	

指導船操業漁場図

